

会長メッセージ



東京本社にて撮影

トヨタ自動車は、「競争と協調」を経営の基本理念に、 自らの持続的成長と世界の自動車産業の発展に尽くします。

▶ 当期(2005年3月期)のトヨタ自動車は、前期に引き続き過去最高の業績を達成し、成長の歴史に新たな1ページを刻むことができました。自動車業界を取り巻く経営環境は年々厳しさを増しておりますが、当社ではよりグローバルな事業展開、時代を先取りした先進技術の開発強化、原価低減活動のさらなる推進等により、世界市場における競争力を高めることができました。

私は、これまでも申し上げてきたように、自動車産業は21世紀の成長産業であると確信しています。今後、世界規模のモータリゼーションが本格的に進展する中、自動車市場も成長を持続していくはずですが、しかし一方で、社会環境の変化に伴ってこれからの時代に求められるクルマのあり方は大きく変化してきており、私たちのクルマづくりや経営も転換期を迎えています。特に環境保全や安全対策など、社会との共生に向けた取り組みは自動車業界全体で克服すべき課題であると同時に、企業間競争の優劣を左右するテーマになると考えています。トヨタとしては、「競争と協調」を経営の基本理念に、業界をリードできる自動車会社として持続的成長の実現に最善を尽くすとともに、世界の自動車産業の発展に貢献できる存在になりたいと考えています。

当社では今般、社長を含むマネジメント・チームを一新し、若返りを図りました。今後大きな時代の節目を迎える中、経営環境の変化に機敏に対応し、将来に向けた変革を加速できる体制になったと確信しています。トヨタは、今後も株主の皆さまをはじめとするステークホルダー各位のご期待にお応えできるよう企業価値の向上に全力を挙げ、国際社会から信頼される企業として長期安定的な発展を目指してまいります。

2005年7月

奥田 碩

取締役会長